

# 天空の楽園 浄土平

想像できない絶景が待っている



鎌沼周辺のワタスゲの群落。湿原に揺れる無数の白い果穂が幻想的な風景を作る

浄土平は、福島市街から車で1時間足らず。磐梯吾妻スカイライン（以下「スカイライン」）のほぼ中間地点にあります。周辺は、火山噴火によって生じた火山礫に覆われていますが、実は高山植物の宝庫で、市街地からは想像できない絶景が待っています。今号では、気軽に行ける天空の楽園「浄土平」周辺の魅力をお届けします。

標高約1,600m。東吾妻山、一切経山、吾妻小富士などに囲まれた浄土平は、桶沼・鎌沼や湿原が点在し、自然探勝路・登山道も整備されているので、気軽に亜高山帯の自然を満喫できます。

スカイラインが通行できる4月上旬から11月中旬までの見どころを、浄土平ビジターセンターの西村真一さんは「群れ咲く高山植物と紅葉です」と話します。6月は梅雨の時期ですが、浄土平は待ちに待った花のシーズン。斜面をピンクに染めるイワカガミに続いてチングルマやワタスゲ・コバイケイソウの群落、7月はシャクナゲのトンネル、8月に入るとエゾオヤマリンドウなど秋の花が咲き出します。浄土平周辺の紅葉の見頃は9月下旬。10月に入るとスカイライン沿線も見頃を迎えます。カーブを曲がるたびに現われる絶景は、何度でも見に行きたくなるほど。ま



浄土平ビジターセンター 副所長  
にしむら しんいち  
西村 真一 さん

▲

浄土平は市街地より約10℃気温が下がるので防寒のために1枚羽織る物があると安心です

「春は残雪でのスノートレッキングを目的に来られるお客様もいますし、夏は極上の星空観察のポイントにもなっています。国立公園のど真ん中まで気軽に来られて、こんなにもアクティブイが多彩にある所ってなかなかないので、浄土平は福島市の宝だと思っています」と西村さん。

大自然の懐に分け入って一体感を味わいたいときは、トレッキングに出掛けましょう。2時間程度で1周できる鎌沼コースには、吹き寄せる偏西風の影響で風下にしか樹木が伸びない場所のほか、春は氷河が割れ落ちるような雪解けを間近で見られたり、梅雨の時期は花、秋は草紅葉など季節ごとに異なる楽しみが待っています。特に酸ヶ平や姥ヶ原辺りは、樹木が少ないので見晴らしも良く、清々しい気分です歩けます。ぜひ、四季で姿を変える天空の楽園に出掛けてみてはいかがでしょうかでしょう。

## 浄土平周辺の高山植物

氷河期の後の温暖化のために高山だけに生き残り独特の進化を遂げた貴重な植物が多く生育しています。

エゾオヤマリンドウ 8~9月  
ネモトシャクナゲ 7月  
チングルマ 6月  
コバイケイソウ 6~7月  
イワカガミ 5~7月  
ミヤマリンドウ 6~9月

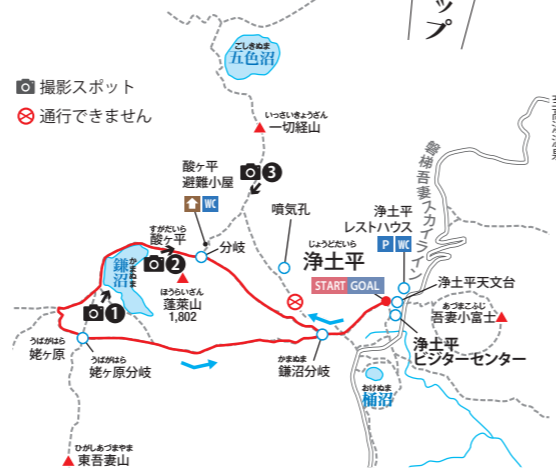
夏

秋



1/一切経山への登山道から残雪の鎌沼を望む。周りは樹木がほとんど無いので見晴らしがいい 2/酸ヶ平避難小屋に続く木道と草紅葉 3/整備された木道が鎌沼へ続き、高低差が少なく歩きやすい。南西の一部は、毎年6月中旬まで残雪がある 4/吾妻小富士から見た浄土平。浄土平ビジターセンターのほか、天文台、レストハウス、広い駐車場(有料)がある

## 鎌沼コースマップ



コース状況は時期や天候により刻々と変化します。無理な登山は遭難事故やけがにつながりますのでご注意ください。お出掛けの際は、最新の情報をご確認ください。また、バスをご利用の場合は、運行時刻にご留意ください。酸ヶ平避難小屋の公衆トイレはチップ制(協力金)。100円程度のチップを用意しましょう。



まずはビジターセンターで情報を確認

## 浄土平ビジターセンター



平成3年の開館以来初のリニューアルをして8月3日に再オープン。展示物を一新し、迫力あるドローン映像も見る事ができる。

開館期間 / 4月中旬～11月中旬  
開館時間 / 午前9時～午後4時  
休館日 / 11月中旬～翌年4月上旬(スカイライン閉鎖期間)

入館料 / 無料  
駐車場 / 有料(乗用車500円、二輪車200円)  
所在地 / 福島市土湯温泉町鷲倉山(浄土平)  
URL / <http://www.bes.or.jp/joudo/vc>  
☎0242-64-2105